

**JSSX** 日本薬物動態学会 第32回年会  
32nd JSSX Annual Meeting in Tokyo

開催趣意書

会 期 : 平成29年11月29日(水)~12月1日(金)  
会 場 : タワーホール船堀 (東京都江戸川区)  
年会長 : 高野 幹久 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院)  
大会URL : <http://www.jssx32.org/>

## ご挨拶

この度、日本薬物動態学会第32回年会を2017年11月29日(水)から12月1日(金)の3日間、東京都江戸川区のタワーホール船堀において開催させていただくことになりました。

日本薬物動態学会は2016年1月から一般社団法人として生まれ変わりました。これまで同様、サイエンスとしての薬物動態研究をさらに深化・発展させることはもちろん重要ですが、同時に社団法人として社会に如何に貢献できるかも大切な視点になってきます。本年会では「創薬そして臨床薬物療法を牽引する薬物動態学(JSSX as a leading society for drug development and clinical pharmacotherapy)」をメインテーマとして掲げさせていただきました。JSSXという言葉を使いましたのは、2017年の年会が、学術団体として、そして社団法人として、JSSXという組織が果たすべき役割を科学的な視点から考える機会にもなればと思ったからです。

創薬および臨床薬物療法における薬物動態学の重要性は、将来にわたって変わることはありません。これまで、薬物トランスポーターや薬物代謝酵素など薬物動態や薬物相互作用を規定する主要因に関する研究は、創薬の初期段階から医療現場における医薬品の適正使用に至る幅広い分野で大きく貢献してきました。さらに近年では、薬理遺伝学、薬物毒性学、ファーマコメトリクス、バイオマーカー、in silicoによる動態・薬効予測など、様々な薬物動態関連領域の研究が著しく進展しています。本年会では、これらの研究動向も踏まえ、参加者の皆様に興味を持っていただけるよう幅広い視点から特別講演、シンポジウム等を企画していきたいと思っています。また、本年会が次世代の薬物動態研究を担う若い研究者の皆様にとって、知識や情報の交換に加えて人的交流の場となることを願っています。

本年会が有意義な会となりますように、多くの皆様にご参加いただき、活発で有益な討論を行っていただけることを願って、開催のご挨拶とさせていただきます。

平成29年1月吉日

日本薬物動態学会第32回年会  
年会長 高野 幹久  
(広島大学大学院医歯薬保健学研究)



## 年会概要

1. 名 称: 日本薬物動態学会第32回年会  
年会長: 高野 幹久(広島大学大学院医歯薬保健学研究院)
2. 主 催: 一般社団法人 日本薬物動態学会  
会 長: 大森 栄(信州大学医学部附属病院)
3. 会 期: 平成29年11月29日(水)~12月1日(金)
4. 会 場: タワーホール船堀  
〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1
5. テ ー マ: 創薬そして臨床薬物療法を牽引する薬物動態学
6. 参加人数: 800名(予定)
7. 主なプログラム(予定)  
特別講演、会長講演、受賞講演、シンポジウム、一般口演、ポスター発表、ランチョンセミナー
8. 組織委員  
大森 栄(信州大学医学部附属病院; 日本薬物動態学会会長)  
山崎 浩史(昭和薬科大学薬学部; 日本薬物動態学会副会長)  
家入 一郎(九州大学大学院薬学研究院)  
伊藤 清美(武蔵野大学薬学部)  
大石 昌代(ファイザー株式会社)  
太田 茂(広島大学大学院医歯薬保健学研究院)  
奥平 典子(第一三共株式会社)  
加藤 将夫(金沢大学医薬保健研究域薬学系)  
楠原 洋之(東京大学大学院薬学系研究科)  
久米 俊行(田辺三菱製薬株式会社)  
栗原 隆(横浜薬科大学)  
斎藤 嘉朗(国立医薬品食品衛生研究所)  
玉井 郁巳(金沢大学医薬保健研究域薬学系)  
田端 健司(アステラス製薬株式会社)  
千葉 雅人(大鵬薬品工業株式会社)  
寺崎 哲也(東北大学大学院薬学研究科)  
中島 美紀(金沢大学医薬保健研究域薬学系)  
原島 秀吉(北海道大学大学院薬学研究院)  
樋坂 章博(千葉大学大学院薬学研究院)  
平林 英樹(武田薬品工業株式会社)  
松永 民秀(名古屋市立大学大学院薬学研究科)  
渡邊 申明(第一三共株式会社)  
Carsten Ehrhardt(Trinity College Dublin)



日本薬物動態学会第 32 回年会  
主なプログラム

特別講演 1

2017 年 11 月 29 日 (水) 13:50~14:50 A 会場

Ulrich M Zanger

Dr.Margarete Fisher-B-Bosch-Institute of Clinical Pharmacology

特別講演 2

2017 年 11 月 30 日 (木) 13:00~14:00 A 会場

Stephen H Wright

Arizona Univ.

会長講演

2017 年 11 月 30 日 (木) 15:30~16:00 A 会場

受賞講演

2017 年 11 月 30 日 (木) 16:00~17:30 A 会場

シンポジウム 1

2017 年 11 月 29 日 (水) 9:30~11:30 A 会場

「薬物動態と毒性の接点：最近のトピックス」

シンポジウム 2

2017 年 11 月 29 日 (水) 9:30~11:30 B 会場

「細胞医薬における薬物動態研究の役割」

シンポジウム 3

2017 年 11 月 29 日 (水) 9:30~11:30 C 会場

「アカデミア創剤の実用化を目指して：産・官・学の連携」

シンポジウム 4

2017 年 11 月 29 日 (水) 15:00~17:00 A 会場

「QSP in oncology (Oncology 領域における様々な角度からの QSP approach の適用事例と課題)」

シンポジウム 5

2017年11月29日(水) 15:00~17:00 B会場

「創薬モダリティや薬効・毒性マーカーへのイメージング技術の応用」

シンポジウム 6

2017年11月29日(水) 15:00~17:00 C会場

「薬効・有効性バイオマーカーとして、いかにメタボローム解析の結果を活用するか？」

シンポジウム 7

2017年11月30日(木) 9:30~11:30 A会場

「Transporter meets new fields -トランスポーター研究の広がり-」

シンポジウム 8

2017年11月30日(木) 9:30~11:30 C会場

「代謝酵素の生理機能の解明と創薬展開」

シンポジウム 9

2017年12月1日(金) 9:30~12:00 A会場

「がん薬物療法の展開とプレシジョンメディスン」

シンポジウム 10

2017年12月1日(金) 9:30~12:00 B会場

「ヒト体内薬物動態予測を指向した Microphysiological system (In vitro)技術の新展開」

シンポジウム 11

2017年12月1日(金) 9:30~12:00 D会場

「中分子医薬品の薬物動態研究の新展開」

シンポジウム 12

2017年12月1日(金) 14:00~16:30 A会場

「薬物動態研究者が知っておきたい規制の動き」

シンポジウム 13

2017年12月1日(金) 14:00~16:30 B会場

「新規化合物の薬物代謝解明へのアプローチ」

シンポジウム 14

2017年12月1日(金) 14:00~16:30 C会場

「ファーマコメトリクスを始めてみよう」

学生主催シンポジウム

2017年11月30日(木) 15:00~17:30 E会場

その他

一般演題(口頭発表、ポスター発表)

ランチョンセミナー